

未来の光

学校 HP <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadahipo/>

教育課程を再編成します。この再編成に伴い、校時表を変更します。

教育課程とは、各学校が、学校教育目標を達成するために学習指導要領が示す教育内容を子どもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織する教育計画のことです。本校も、4月当初、コロナ禍による不透明な状況下において暫定的ではありますが、教育課程を編成しておりました。

4・5月と2か月間、臨時休業が続き、やっと6月1日(月)、分散登校による学校が再開しました。このまま順調に進めば、29日(月)には通常再開に向かいます。

教育課程は一年間の教育計画であり、臨時休業中に履修すべきであった学習内容や2か月間の授業日数が確保できなかった分を、学校再開以降、年度末までの間に確保しなければなりません。「いつ、どのように取り組ませるのか」を再度、計画し直す必要がありました。

先日、市教育委員会事務局より示された夏休みを短縮し、授業日数を増やしたうえでも、今まで通りのやり方で進めていけば、残りの日数の中で学習指導要領が示す標準授業時数を確保することについては、高学年の不足が多く、他学年についても例年のような余裕はないことが明らかになりました。今後、コロナウイルスの第2波・第3波により再び臨時休業となってしまう場合、対応はかなり難しくなります。

臨時休業期間中も、本校では、その対応について、教職員が協議を進めておりました。

その協議の際には、

「各学年の本年度予定していた学習内容は、本年度中に履修させたい。」

「授業時数を確保しなければならないが、子どもたちの負担過重にならないような工夫が必要である。」

「本来の形で行事ができなくても、「行事を通して子どもを育てる」という特別活動の考え方も大事にして、行事も精選・工夫しながら実施したい。」

などの視点を整理していました。

そのような中、6月3日、兵庫県教育委員会発出通知「子どもたちの「学びの保障」の観点からの留意事項」に準じて教育課程を編成するにあたり、川西市教育委員会事務局より、令和2年度に限り、県の特例により、「学びの保障」を目的として、市内統一で、1単位授業を小学校は40分、中学校は45分として算出する。という方向性が示されました。

1単位授業を40分で行います。「学習タイム」を2本に拡大します。

1単位授業を5分短縮することで、今まで(45分授業)よりも、登校から下校までの1日の中で、6コマしかとれなかったところが7コマを確保しようと考えれば確保できるようになります。同様に、1週間の中で確保できるコマ数も増やしやすいです。

しかしながら、毎日 6 校時や 7 校時まで授業があるということは、子どもの負担過重になりかねません。この点について配慮しつつ、コロナウイルスが沈静化している間に、しっかり授業時数を確保するというのが 40 分に短縮するねらいの一部であると解釈しています。

今まで 45 分で行っていた 1 単位授業を 40 分にすることは、文字通り 5 分間の短縮ですので、これまでの単元構想や授業の組み立て、時間配分に少し工夫を加えることが必要となってきます。

例えば、算数科学習において、新しい内容を学び、友だちの考えを聞いたり、自分の考えを発表したりした後、わかったことや気づきをまとめ、計算ドリルなどを活用し、練習問題を行っていた時間の分だけ、短縮になりますので、その練習時間は別の時間帯に保障しなければなりません。

この練習を集中的に行うのが、「学習タイム」です。

朝の時間帯に、これまで実施してきた国語科の学習タイムは拡大します。全学年、15 分間の短時間学習を毎日(月から金曜日の 5 日間)設定し、新出漢字の獲得や、既習漢字の繰り返し練習、力だめしを行うものです。この国語科の学習タイムに加えて、全学年、昼の時間帯に、月から金曜日の 5 日間、10 分間の学習タイムを設定します。3～6 年生は、そのうち 4 日間を算数科の学習タイムとして、既習内容を繰り返し学習することで、知識の定着を図ろうとするものです。残りの 1 日は、外国語科並びに外国語活動の短時間で行う内容を実施していくものです。1・2 年生は、5 日間、算数とします。

この国語科や算数科での学習タイムは、繰り返し学習をすることで知識の定着を図るものです。子どもたちの学習量、計算や漢字の練習量を増やすことで、「基礎基本の定着」を図っていきたいと考えます。

これまでの全国学力・学習状況調査の結果、本校児童の傾向として、漢字の読み書きや基礎的な計算が十分に定着しておらず、正解を導きづらいという実態に対して、改善を図っていこうとするものです。

また、中学校への進学を控え、不足が多い 6 年生については、年度末までの年間を通じて、1 コマ授業可能なコマ数を増やして、授業時数を確保するとともに、学習すべき内容はすべて履修すべきと考えます。

5 分間の短縮・短時間学習の拡大により、1 日でみると従来より早く下校することも可能になりますが、一方で、1 週間(月～金曜日)でみると、コマ数は以下の通り、今までよりも、授業可能なコマ数を増加することができます。

各学年の標準授業時数は以下の通りです。今回、1 単位授業を 45 分間から 40 分間にすることで、各学年の授業可能なコマ数を確保し、標準授業時数を現時点では上回り、教科学習等以外の学校行事についても、一定確保していくことが可能になります。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数 (週当たりコマ数)	850 (25)	910 (26)	980 (28)	1015 (29)	1015 (29)	1015 (29)
これまでの週当たりコマ数	24+1	25+1	27+1	28+1	28+1	28+1
今回の変更により確保する週あたりのコマ数(※)	24+3.125	25+3.125	27+3.125	28+3.125	28+3.125	28+1+ 3.125

※例えば、6年生は従来 28+1、つまり 28 コマの 45 分授業と 1 コマの短時間学習の合計 29 コマで進めていました。このたびの再編成により、週あたり 32.125 コマで授業を進めていく予定です。この 32.125 コマのうち、3.125 コマは学習タイム(国語 15 分×5、算数 10 分×4、外国語 10×1)として授業カウントしますので、残りの 29 コマを 40 分授業で進めます。月から金曜日の 5 日間で、6 時間目までの日が 4 日、5 時間目までの日が 1 日となります。

近い将来(現時点での予定では、10月ごろ)タブレットが1人1台配布されます。その際は、40 分間の授業の中でも、10 分間・15 分間の短時間学習の中でも、タブレットを使用した学習を導入する予定です。

日常的に子どもたちがタブレットに慣れ親しみ、ツールとして活用できるようになれば、これからの変化が激しい社会を生き抜く子どもたちにとって、大きな力となります。これからの未来を担う子どもたちの学習は、私たちおとなが育ってきた時代の教育とは違うものとなりつつあります。

万一、今後、コロナウイルス感染状況が悪化し、再度、学校へ登校できない状況になったとしても、環境を整えば、学校にいる教師と在宅の子どもたちが遠隔で授業を行うことも可能となります。

新しく計画した授業時数をもとに、各学年各教科において、「いつ、どのような内容を学習するのか」を示す「年間指導計画」につきましては、別途お示しいたします。また、学校行事につきましても、改め整理し、近日中にお伝えしていきます。

校時表を変更します

前述のとおり、1 単位授業を 45 分間から 40 分間に、学習タイムの時間帯を 1 本から 2 本に変更しますので、1 日の時間の過ごし方を示す校時表も変更します。

この機に、これまで協議しておりました点「朝の健康観察は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、しっかり時間を確保する」「休み時間や清掃時間についても、想定される子どもたちの動線に合わせていく」など、修正を加えます。

新しい校時表については、通常再開を予定している 6 月 29 日(月)より導入いたします。

本日、各学級担任から時間割を配布しています。合わせてご確認願います。

校時表自体は 29 日から導入しますが、6 年生に関する授業をするコマ数の増加は急な変更となりますので、移行期間を設け、緩やかに移行していきます。詳細は学年通信でお伝えします。

これまでの時刻とは若干異なりますので、私教育である習い事や塾、放課後等デイサービス、民間学童保育クラブ等関係機関との連絡調整につきましては、ご家庭の方でよろしくお願いいたします。

このたびの教育課程の再編成については、教職員一同が、担当部会を中心に、これまでの経験則だけではなく、先行事例の研究、法的根拠などを調べ、本校の子どもたちの実態や地域のようすを根拠として考え合わせ、職員会議で共通理解をしながら進めてまいりました。

本年度に限った、授業時数を増やすだけの手段として考えているわけではありません。

「ピンチをチャンスに変える」これまでの課題解決や先進的な取り組みとして、本年度、40 分授業と 2 本の短時間学習により、子どもの学校生活にとって有効であったかについては、年度末にしっかり検証し、次年度以降の導入の可能性についても探っていきたいと考えます。

令和 2 年度につきましては、変則的になり、例年とお子となる進め方を行うこととなりますが、いつもと違うことで、子どもたちが不利益を受けるようなことは決してあってはいけません。教職員一同、子どもたちの学習の保障、有意義な学校生活に向けて、創意工夫を凝らしてまいります。趣旨ご理解のうえ、ご協力よろしくお願いいたします。

校時表

月・火・金	木	水	個人懇談等
8:30 健康観察	8:30 健康観察	8:30 健康観察	8:30 健康観察
8:35 朝の学習	8:35 全校朝会・児童集会 朝の学習	8:35 朝の学習	8:35 朝の学習
8:50 朝の会	8:50 朝の会	8:50 朝の会	8:50 朝の会
8:55 1校時	8:55 1校時	8:55 1校時	8:55 1校時
9:35	9:35	9:35	9:35
9:45 2校時	9:45 2校時	9:45 2校時	9:45 2校時
10:25	10:25	10:25	10:25
10:45 3校時	10:45 3校時	10:45 3校時	10:35 3校時
11:25	11:25	11:25	11:15
11:35 4校時	11:35 4校時	11:35 4校時	11:25 4校時
12:15 給食	12:15 給食	12:15 給食	12:05 給食
12:55 昼休み	12:55 昼休み	12:55 昼休み	12:45 給食 拾い掃除・終わりの会
13:15 掃除	13:15 掃除	13:05 掃除	13:00 最終下校
13:30 準備	13:30 準備	13:20 準備	
13:35 昼の学習	13:35 昼の学習	13:25 昼の学習	
13:45 準備・移動	13:45 準備・移動	13:35 準備・移動	
13:50 5校時	13:50 5校時	13:40 5校時	
14:30	14:30	14:20	
14:40 6校時	14:40 6校時	14:40 最終下校	
15:20	15:20		
15:45 最終下校	15:45 最終下校		
委員会活動の ある木曜日	クラブ活動の ある木曜日		給食のない 校時
13:50 5校時	13:50 5校時		8:30 健康観察・朝の会
14:30	14:30		8:40 1校時
14:40 委員会活動	14:40 クラブ活動		9:20
15:10	15:20		9:30 2校時
15:45 最終下校	15:45 最終下校		10:10
			10:20 3校時
			11:00
			11:10 4校時
			11:50 給食・掃除・終わりの会
			12:00 最終下校